組合員数115,811人
支部数　927
読者数 70,106人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第322号　2016年10月15日（土）
（通巻第521号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　冨田　浩康　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

年金裁判と仲間づくりで 安倍政権に 反撃へ

年金削減・株式投資やめよ

積立金は保険料軽減に回せ

年金100万署名 年内達成めざす

第192臨時国会が9月26日に召集され（11月30日まで）、安倍首相は施政方針演説で、戦争法（安保法制）、改憲、社会保障改悪、原発再稼働、辺野古新基地建設やTPPの強行などあらゆる分野で暴走を表明。

これに反撃する国民運動が広がっています。年金者組合は「年金削減やめよ」と年金100万署名の年内達成と年金裁判をすすめつつ、11・12月の「仲間づくり月間」で大飛躍をめざして準備をすすめています。

厚労省交渉する年金者組合の代表（向かい側右から2人目が冨田委員長）

年金者組合 厚労省に抗議・要請

「年金引き下げはやめろ」「積立金を株に投資するな」―臨時国会召集に先立つ9月8日午後、年金者組合は全国書記長会議出席者と首都圏の仲間が厚生労働省前で集会を開き、年金積立金運用独立行政法人（GPIF）が2015年度から数えて10兆円もの年金積立金を消失させたことに抗議し、厚労省に改善を要望しました。（要望書は2面に掲載）

中央本部役員と首都圏本部の委員長、副委員長ら12人の代表は厚労省内で輿水慎吾係長ら年金局年金課職員に対面。冨田浩康委員長が「GPIFをアベノミクスの道具にしてはならない」と年金積立金消失の責任をただし、加藤益雄書記長がGPIF改革も含めた要望の趣旨を説明し、「年金積立金は投資に使うのではなく、保険料負担の軽減にあてるべきだ」など提言も行いました。

「積立金の短期的なマイナスは問題ない」と繰り返す厚労省職員に、「安倍首相は国会で積立金の損失が出れば給付を減らすといっているではないか」と追及。改めての交渉を求めました。

国会召集日に議員会館前で安倍政権の暴走に抗議（9月28日）

納付期間10年に短縮

来年9月実施へ 年金者組合の要求実る

年金者組合が要求してきた、年金の受給資格を得るのに必要な保険料納付期間を25年から10年に短縮する法案が臨時国会に提出されました。実現すれば来年9月分から実施の予定で、約64万人が新たに受給対象者になります。予算は年間約650億円の見込み。

これまで年金受給資格の短縮は消費税10％への引き上げと同時に実施されてきたため、年金者組合は、「消費税引き上げと切り離し直ちに実施を」と厚労省交渉などで繰り返し要求してきました。ただ、加入期間10年で受け取れる国民年金は月1万6千円程度で、最低保障年金など抜本的な底上げが急がれます。

国民の声を聞け

○…国会召集日の9月26日、総がかり行動実行委員会が議員会館前で安倍政権の暴走を許さない集会を開き、都内や近県などから約800人が参加、年金者組合からも多数参加しました。

○…これに先立つ9月19日には総がかり行動実行委員会の戦争法強行採決1年「戦争法廃止！　国会正門前行動」が行われました。雨の中、2万3000人が結集し、年金者組合員も大勢参加。「日本を戦争する国にはしないぞ！」「安倍政権NO！」とこぶしを突き上げました。

▼訂正＝9月15日号1面の介護保険の記事中、「通所介護（デイ・サービス）は対象外とし」の、「通所介護（デイ・サービス）」を削除します。

10月中に全支部が目標を決め
11・12月仲間づくり月間成功へ

2017 新年号の原稿募集

2017年新年号の原稿を募集します。ふるってご応募ください。

◇**もう一度行きたい**
若いころの旅、新婚旅行先などもう一度行ってみたい思い出の場所。200字以内。

◇**いま楽しみにしていること**
趣味、旅行、孫の成長などいま楽しみにしていることを自由に。200字以内。

◇**絵手紙、写真、詩、短歌、俳句、川柳**
写真は撮影年月日・場所、簡単な説明をつけて。詩は20字詰め20行まで（題、氏名は別）。その他はそれぞれ別のはがきで（FAX・メールも可）。

◆締め切り＝12月21日（水）中央本部必着のこと。必ず「新年号用」と明記してください。

風雪

久々に映画を観た。「トランボ」だ。1947年、ハリウッドには共産主義者を弾圧する「赤狩り」の嵐が荒れ狂う。脚本家のトランボは信念を曲げず、下院非米活動委員会で証言を拒んだため、投獄●出所しても仕事がない。そこで、偽名で脚本を書き、「ローマの休日」等々でアカデミー賞に輝いた。言論や思想の自由が脅かされた歴史的な事実、それに負けずに闘ったトランボの存在を知った●安倍内閣は機密保護法、戦争法を強引に成立させた。そして共謀罪の成立を狙い、憲法草案では基本的人権を否定する●NHKをはじめとするマスコミへの政府、自民党の介入、民主的評論家、文化人のパージが始まっている。声を上げていこう●国民の権利擁護、拡大も対抗軸、「年金引き下げは憲法違反。生存権を、財産権を、幸福追求権を守れ」。「裁判を受ける権利を剥奪する移送は憲法違反」。最後まで元気に闘おう。（公）

40分で122人が署名

北海道・札幌西支部

年金署名に切実な声

年金支給日の8月15日、札幌西支部が「若い人も高齢者も安心できる年金を求める」署名行動を行いました。「積立金を株に運用するなんて！年金が減らされるのは頭にくる」と怒る一人暮らしの女性。「払った保険料分は受け取りたい」などの切実な声が寄せられ、40分の行動で122人が署名してくれました。（小川基弘）

戦争と平和を語りつぐつどい

東京・小金井支部

東京・小金井支部は8月27日、「戦争と平和を語りつぐつどい」を開催しました。

被爆者で地元在住の泉順太郎さんは「私の被爆体験・平和の大切さ」の題で話し、「原爆は人間が尊厳をもって死んでいくことを許さなかった」「核兵器は人間と共存できない」と強調しました。

絵本「くものうえまではないちもんめ」の作者山本嘉子さんは、読み聞かせとスライドを上映、自身の空襲体験から絵本を作ったと話しました。（日比野正彦）

公正判決を求める署名運動を提起

報告する横山弁護士

年金裁判第2回口頭弁論と報告会に81人　青森

青森年金裁判第2回口頭弁論が9月16日、青森地裁で行われました。県内から81人が参加、傍聴者は抽選で56人、原告席に11人が入廷出来ました。

口頭弁論の内容は、被告答弁書の「年金制度の概要」及び「原告らの主張に対する反論」に対する反論の陳述でした。

裁判終了後「報告集会」が開かれ、横山弁護士と橋場弁護士からこれまでの経過と裁判の方向が報告されました。裁判を通して国民の怒りにできるかがカギ、と強調されました。（兼田　正）

針路

月間成功へ出足早く
100万署名・裁判運動と一体で

●10月は秋の「月間」の準備・助走期間。全県・全支部がこれにしっかり取り組みます。各県本部は、春の月間総括をふまえ、秋の「月間」の方針、目標、推進体制、スケジュールなどを決め、支部代表者会議などで提起し、支部段階での討議を進めます。

支部は、県本部方針に基づいて目標を決め、支部の推進体制の確立、推進ニュースの発行を準備し、地域宣伝チラシ作成やいっせい行動日などを検討します。

「月間」期間は11月1日からですが、準備ができ次第、「月間」本番に入ります。中央本部の週報は10月1日から実施します。

●原告は42県本部39地裁で4586人。31地裁で口頭弁論が進行中です。

各県本部・支部は16年度裁判募金、支援する会の結成、地域の労組・民主団体への要請オルグ、年金裁判・社会保障の学習会や決起集会の取り組みを進めます。

10月～12月、年金裁判を中心とした200万枚ビラの第2次全国宣伝行動を実施します。

●年金100万署名は12月の中央委員会までの目標突破を目指し、1人10筆以上の達成に取り組みます。

年金積立金の株運用による巨額損失について抗議のFAX集中行動を10月末まで全国で取り組みます。当面の年金改善・社会保障の要求署名、地方議会意見書採択を進めます。

安倍政権の改憲策動に対し、各地で9日、19日の一斉行動、憲法学習会、集会、宣伝に取り組みます。

大地震に負けないで頑張ります

熊本大地震に対する全国からの募金に対して、次のようなお礼の言葉が寄せられましたので紹介します。

益城支部　澤田　育男

全国の組合員の皆様、4月の熊本大地震に対しお寄せ頂きました多額の義援金、大変有難く感謝申し上げます。

益城町を中心に起きた今回の地震は、熊本市を始め周辺の市町村にも多大な被害を及ぼしました。

益城支部は、甲佐町の組合員を含め37名と小さい支部ですが、全半壊21名、一部損壊16名という甚大な被害を受けました。今も町外に避難、或いは、仮設住宅に入居できたものの不自由な生活を余儀なくされている組合員もいます。

体調を崩した組合員もいますが、多くの組合員は、被災者支援や県・町に対する要求活動等に精力的に取り組んでいます。

支部の活動は、休眠状態にありますが、しばらくは、県本部や他の民主団体が主催する平和運動や社会保障の改悪反対等の活動に参加しながら、支部の再建に取り組みたいと考えています。

益城支部の近況を報告しまして、お礼の挨拶といたします。

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の改善見直しについての要望

2016年9月8日

厚生労働大臣　塩崎　恭久　殿

全日本年金者組合
中央執行委員長　冨田　浩康

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、2015年度の5兆3千億円余の赤字に続いて、16年4～6月の3カ月でも15年度に匹敵する5兆2342億円の赤字を発表した。

安倍自公政権はアベノミクスの成長戦略として14年10月、年金積立金の株式運用を従来の24％から50％に拡大したが、その結果、莫大な運用損をもたらした。

国民の貴重な財産である積立金は、本来、安全、確実に運用されるべきであり、乱高下する株価に左右される運用は根本的に誤りといわざるを得ない。

GPIFは「短期的な運用損は年金額に影響しない」としているが、運用損が今後も続いた場合、将来の年金額の減額や現役の保険料の引き上げにつながる懸念は拭えない。

私たち年金者組合は、国民の財産である年金積立金の安定的な運用をはかるために責職がGPIFの監督官庁の責任者として左記事項について措置するよう強く要請する。

1．役員等の任免について

(1) 理事長への権限集中を改め、合議制で重要事項を決める組織改革を行うこと。

(2) 理事会及び将来の運営委員会の選任に当たっては公正・公平を大原則とすること。

(3) 理事会及び運営委員会には受給者の代表を加えること。

(4) 理事長及び副理事長の選任に当たっては、国会の同意人事案件とすること。

2．年金積立金の運用について

(1) 現行の運用比率を見直し、株式比率を14年10月以前に戻すこと。

(2) 大企業や金融業の株価の下支えの歪んだ運用基準を見直し、リスクの少ない国内債券を中心とした運用基準に戻すこと。

3．年金積立金のあり方について

(1) 全労働者の約4割の非正規労働者を正規労働者に切り替え、社会保険制度への加入を促進すること。将来の無年金、低年金者をなくすこと。

(2) 積立金は労使折半負担の保険料を主な財源としており、給付のための安定財源を担保するものであり、その総額は給付金の2倍程度を上限とすること。

(3) 現行の厚生年金保険料の料率を引き下げるとともに標準報酬等級の上限を健康保険並にすること。

(4) 現行のマクロ経済スライドを廃止し、従来の物価・賃金スライドに戻すこと。

(5) 全額国庫負担による最低保障年金制度を創設すること。

以上

秋の月間「停滞」から踏み出す会議

全国都道府県書記長会議開く

心を一つに「月間」で大前進を

奈良・香芝　東京・世田谷　先進支部に学ぶ

全日本年金者組合は9月7、8日の両日、東京で47都道府県本部書記長と中央本部役員ら約80人が出席し、全国書記長会議を開きました。

冒頭、冨田浩康委員長が、諸運動が前進している中で仲間づくりが停滞していると指摘。秋の月間成功に踏み出す会議にと呼びかけました。

加藤益雄書記長が基調報告。参議院選挙後も安倍政権が強権的な動きを強めているとし、①戦争法廃止・立憲主義を取り戻す②社会保障の改善③最低保障年金の実現④平和と民主主義を守るなど国民的課題で腰を据えて共同を強化すると報告しました。

年金裁判は全県・全支部で支援組織を結成して運動を進め、意見陳述集を作成し、学習会や決起集会を開き、宣伝も強め、広く訴えていく。運動を支えて行くため募金目標を設定して取り組むと決意を語りました。

「秋の月間」では、10月を「準備・助走期間」に、11月1日から12月25日までを「秋の仲間づくり月間」とし、①組合員拡大②支部結成③「年金者しんぶん」拡大の3課題に、全支部が目標を持って取り組み、成果をあげることを提起しました。

質疑・討論では、「4回口頭弁論があったが、130人の法廷を組合員と支援共闘で満席にしている」（福岡）、「繁華街や銀行前、量販店前などでの行動と、家庭訪問で年金署名目標を超過した」（長崎）、「移送反対のたたかいで、最高裁への特別抗告受理までこぎつけた」（神奈川）、「春の月間で実増が少なかった。反省して9月に会議を開いた。サークル活動が活発な支部は増えている」（愛知）など教訓と展望を示す発言があいつぎました。

特別報告が二つ。人口7万8千人の小さな市で、706人を組織している奈良県香芝支部の西本信一書記長が「支部にはクラブは42ある。趣味、レクリエーションの要求、特技をもっている人たちが中心になって、行事・活動を企画し、実行するようにして、支部はニュースで知らせ、相談があれば援助し、解決する。地域運動でも公共バス存続、プール再開などの成果をあげた。機関紙には毎号切り取りの加入申込書をつけており、1千人の支部実現は可能だと思っている」と述べました。

続いて、5分会820人の東京・世田谷支部の小澤満吉書記長が実増25人を目標にかかげて28人の成果をあげた春の月間について「三役会議、執行委員会で議論したこと。5分会が励まし合い、競い合ったこと。役員を先頭に多くの組合員が参加したこと。日常的に増やすことを重視し月間に成果を集中した」。秋の月間でも運動と結合し奮闘すると決意を語りました。

課題ごとに執行部の中間答弁があり、加藤書記長の「支部段階から学習をして、憲法、戦争法、社会保障と国民的課題の運動を地域から進めよう。皆の心を一つにして、秋の仲間づくり月間で大きな前進をかちとろう」とのまとめを確認し、閉会しました。

仲間を増やして情勢の打開を

全支部で討議、目標決め、体制をとる

中央本部組織統括部長　三上　利栄

臨時国会が開会され重要な議題が審議されます。私たちの役割が求められる重要な情勢です。同時に、要求実現と結んで、11月から仲間づくり月間が取り組まれます。この月間は情勢打開と要求実現のために何としても成功させなければなりません。

そのために10月中に月間準備をしっかりすすめましょう。

出し合って取り組むことです。支部長、役員を先頭に組合員一人ひとりに、全組織が、目標を決め、体制をとり、ニュースを発行して、みんなの力を成果を上げてみんなを激励することです。すべての都道府県本部が前進して、大きく増勢になるように全力を尽くし、安倍暴走政治ストップ、憲法改悪許さず、TPPを認めず、社会保障充実のために組織の力を大きくしようではありませんか。中央本部は皆さんとともに全力を尽くします。

読者にも協力をお願いしましょう。そして、役員を先頭にスタートを切り、

久保庄司副執行委員長が逝去

全日本年金者組合副中央執行委員長の久保庄司さんが9月15日逝去されました。享年81歳。久保さんは2011年から千葉県本部執行委員長を務め、同時に副中央執行委員長として活躍、千葉県本部と全国の運動と組織建設に多大な貢献をされました。

支部&サークル

――和歌山・紀の川支部――

サークルの成果「作品展」で発表

楽しんで仲間を増やすのが伝統

昨年1月に那賀支部を分割して、紀の川支部が結成されました。那賀支部は当時から、サークル活動を楽しみ、その楽しみを通じて仲間を増やす取り組みを進めてきた伝統を受け継ぎ、サークル活動を通して仲間づくりに取り組んでいます。

県本部は支部ごとのサークルをめざしていますが、「合同サークル」として活動しているものが大半です。組合員とのつながりでサークルに参加し組合へ入った人も多く、単純に割り切れないからです。

サークル活動の成果は、毎年3月に開催している『作品展』で発表し、ソーイングや絵手紙、陶芸、水墨画、文芸などの作品に見学者は感嘆しています。

また、フラサークルは昨年の日本高齢者大会をはじめさまざまなイベントで主催者から要請されて会場を盛り上げるダンスを披露しています。

紀の川支部では、最近、支部独自の「読み聞かせサークル」「手芸サークル」が誕生しました。

（野崎季詩子）

地元のみなさんのおもてなしで
自然とふれあい　歴史と平和を考える　沖縄4日間
● 11月25日(金)～28日(月)
● 121,000円（羽田発着）
● 30名様（最少催行20名様）
■羽田～南部戦跡めぐり～那覇泊～辺野古～高江～国頭村泊～やんばるの森～国頭村泊～今帰仁城跡～羽田■利用航空会社：全日空■利用ホテル：ナハナホテル（那覇）、やんばる学びの森（国頭）、JALリゾートオクマ（国頭）■食事：朝3昼2夕3

天空の神秘　アラスカ　オーロラ鑑賞　7日間
2017年
● 1月20日(金)～26日(木)
● 356,000円（成田発着基準）
● 12名様（最少催行8名様）
■成田発～シアトル～アンカレッジ～フェアバンクス泊（4連泊）～シアトル～機中泊～成田着■デルタ航空／アラスカ航空■宿泊：A Taste of Alaska Lodge■食事：朝4昼0夕5■締切：11/25(金)

いずれも添乗員同行、空港諸税等別途詳しい旅行条件書をお送りしますのでご確認の上お申し込み下さい。
【お問合せ・申込先】　東京都知事登録旅行業 第3-6101号　㈱たびせん・つなぐ
TEL:03-5577-6300　FAX:03-5577-6310　〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1-302
[メール]info@tabisen-tsunagu.com　[Web]http://tabisen-tsunagu.com
【企画・実施】株式会社タビーズ　観光庁長官登録旅行業 第1-1906号　東京都港区芝5丁目13-18いちご三田ビル

年金裁判

31地裁で口頭弁論
高齢者の実態 意見陳述でせつせつと

年金裁判は9月末現在、42都道府県で458人が原告に立ち上がり、全国31の地方裁判所で口頭弁論が開始され、すでに50人をこえる原告が意見陳述を行いました。前月号に続いて2人の意見陳述（要旨）を紹介します。

食費切り詰め30年前の服

原告 岡崎秀子さん（熊本地裁・2016年3月28日）

私は現在80歳です。高校卒業と同時に、地元苓北町にある私立保育園に勤務し19年間勤めました。厚生年金の最低の納入期間は20年でしたので、その後も近所の電気店で仕事を続けました。その結果245カ月分を収めることができ、年金受給の資格を得ました。

65歳になった平成13年からは、老齢厚生年金として年額52万7900円と老齢基礎年金として年額55万1900円の合計107万9800円を受給しました。その後、さらに年金額は切り下げられ、平成25年の1％減額で1万800円下がって、104万5300円となりました。

さらに、介護保険料と後期高齢者医療保険料として11万円弱が天引きされますので、手元には月額7万8000円程度の年金です。

私ども夫婦には二人の子がおります。二人の教育費を賄うのも大変で、奨学金を受けながら地元の高校を卒業しました。地元には大学がなく、子ども二人を遠く離れた大学に通わせるため、奨学金だけでは足りず、借り入れをしました。その返済には夫の年金を充ててきましたので、年金をすべて生活に充てられるのではないのです。

息子は大学を出て就職しましたが、働き始めてすぐに多発性硬化症という難病にかかり、治療のため天草に帰ってきました。仕事をしたいと地元で2度就職しましたが、願いもむなしく病気が再発して退職を余儀なくされ、自宅で一緒に生活しています。

私自身も、70歳のときに悪性リンパ腫、脳腫瘍、緑内障と大変多くの病気をもって通院をしています。元気だった夫も、3年前に脳梗塞を患い、月に1度の通院をしています。私ども三人の暮らしはすべて質素です。食費は切り詰めて一汁一菜、衣服も30年前に買った服を着ており、来客以外はエアコンも使いません。こんな生活でも今の体調を維持していればこそで、この先誰かが入院しようものなら、本当に「老人破産」です。

また、親として私たちが亡き後、息子の年金のことが気がかりです。息子が職場でかけた数カ月間の厚生年金と、その後、無収入になってからの減免期間の数年間でどれだけの年金になるのか、この子を残しては先に死ねない親の素直な気持ちです。

支給は激減 負担ずっしり

原告 平岸 肇さん（名古屋地裁・2016年5月25日）

私は現在69歳です。中小企業に就職して38年間、厚生年金保険料を支払ってきました。60歳で定年退職しましたが、65歳まで老齢基礎年金たる国民年金は貰えませんでしたので、その間は、①老齢厚生年金の比例報酬部分②企業年金③退職金の一部としての積み立てられた確定拠出年金の三つの年金で、やりくりをしていました。その頃の収入は、三つの年金の合計で月に17万円弱ありました。

60歳から1年間は母親の介護にあたり、母親が亡くなった後も、父親が亡くなるまでの4年間は父親の介護にあたりました。両親の介護費用は、専ら両親の年金からまかなっていましたが、それでも月に数万円は私からも支出していたため、私の貯金も減る一方でした。

65歳の時点で確定拠出年金の支給も終了し、65歳からは、老齢厚生年金と老齢基礎年金たる国民年金と企業年金のみとなり、収入が激減しました。他方で、国民健康保険料や介護保険料などの負担額は高くなりました。介護保険料などを差し引かれると、私の年金は月に10万円程度です。

妻の年金もあるので、二人の年金をあわせれば全く生活が立ち行かなくなることはありませんが、外食などはほとんどしなくなり、交際費もかけられなくなりました。

支出で削れるところは削る生活となり、私が描いていた老後の生活とはかけ離れたものとなっていました。

そうした中、平成24年4月には年金額が改定になり、翌平成25年10月から年金額は実に1万4800円、月額にして1200円余りの減額になり、家計をますます圧迫しました。

年金生活者の苦しい生活を一顧だにせず、問答無用の年金減額は許せません。

第5回口頭弁論開かれる
―9月2日札幌地裁で―

札幌地裁で9月2日、年金裁判の第5回口頭弁論が開かれました。開廷に先立ち、傍聴者が札幌市大通りの公園に集合して集会を開き、札幌西支部の仁木支部長と東支部の菅原さんが決意表明を行いました。

口頭弁論では阿部幸子さんが意見陳述に立ちました。高齢者の貧困、ご自身の生活の実態と不安を述べ、憲法で保障されている権利と年金切り下げ取り消しを求めて裁判官に訴えました。

口頭弁論終了後の報告集会では、笹本弁護団事務局長が審理の説明と今後の方向について述べました。第6回口頭弁論は12月16日に予定されています。（北海道「支援する会ニュース」より）

いきいき作品展に600人
秋田・大館支部

600人が訪れ、作品を鑑賞

秋田・大館支部は9月13、14日の両日、大館市内のショッピングセンターを会場にして、3年ぶり8回目の「いきいき作品展」を開催しました。

70人の組合員が絵画、書、写真、手芸、文芸、絵手紙、陶芸、盆栽など250点の作品を出品、会場いっぱいに展示しました。

2日間で600人が来観。「作品のすばらしさに感動しました。若さを感じました」「長い人生、何かを残すために生き生きと活動されていることに感心しました」などの感想が寄せられ、励まされました。

仲間も増えました。（小池 健）

年金者

何でも相談

Q 老齢基礎年金などの受給資格期間を25年から10年に短縮することが来年度中に実現しそうだと報道されていますが、具体的にはどう進展しているのですか。また予定通り実施されれば2年ほど遅れての実施ですが、改めて留意点を説明してください。

A 政府・与党は「年金機能強化法の一部を改正する法律案」をこの秋の臨時国会へ提出しました。改正案は受給資格期間短縮の施行期日を「消費税率10％引上げ時」から「2017年8月1日」に改めます。これにより2017年9月分の年金から支給されることになり、初回の支払いは2017年10月となります。新たに年金を受給できる方は約64万人です。（「週刊年金実務」、平成28年9月12日号）

受給資格期間を短縮する年金は老齢基礎年金、寡婦年金、老齢厚生年金、退職共済年金、旧法の老齢給付です。また、この10年には合算対象期間も含めてよいとされ、保険料納付済期間、保険料免除期間、合算対象期間を合わせて10年を満たせば、老齢基礎年金、繰上げ支給の老齢基礎年金、老齢厚生年金、繰上げ支給の老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金は支給されます。

ただ寡婦年金は「保険料納付済期間と保険料免除期間とを合算した期間が10年以上」となっており、合算対象期間は含まれません。老齢基礎年金の受給者が死亡した時、受給資格者が死亡した時、遺族基礎年金が支給される25年の要件は従来のままです。（厚生年金も同じ）

2016年10月5日（年金相談室 小林 善雄）

年金相談―毎週月・木の10時30分～15時30分まで☎03・5978・2751

元気に第6回全国女性代表者会議開く

全支部に女性の会結成し 憲法守り安心できる老後を

垂れ幕に共鳴し地元女性が新加入

9月28、29両日、京都市教育文化センターで年金者組合の第6回全国女性代表者会議が開催され、153人が参加。活動経験を交流し、憲法・平和を守り、安心できる老後へ女性の会（部）の前進を誓い合いました。

北海道から沖縄まで女性の代表が京都に総結集

「女性は戦争に反対、憲法を生かし、安心できる老後を」をかかげての女性代表者会議は冨田浩康中央執行委員長の主催者あいさつ、山﨑彰京都府本部委員長の歓迎あいさつで始まりました。

石川康宏神戸女学院大学教授の講演で、安倍政権は戦前の「天皇主権」復活を目指しており、民主、人権、年金など社会権を守るため総選挙へ野党と市民の共闘発展が重要であると結びました。

馬場目トミ子中央女性部長が全支部に女性の会（部）を結成する重要性と、女性の力を十分発揮していくため、改善点も含めて交流、意見交換を呼びかけました。

続いて、90歳の伊原敏子広島県女性部長と、田村照代群馬県女性部長から特別発言を受けて、分散会に入りました。

困難をかかえる仲間へのサポート経験もだされた

夕食交流会では、京都の皆さんの舞踊、民謡、サンバ、参加者全員が輪になっての大合唱でおおいに盛り上がりました。

2日目は地域別交流会を行いました。昼食時には会場にかかげた「女性が自立できる年金を」の垂れ幕に共鳴し地元女性が新加入したと報告され、満場大拍手でした。

石川、福井の代表が日本母親大会のお礼、青森の代表が平和大会への参加を呼びかけました。

全体討論を行い、加藤益雄中央本部書記長の運動提起、三上利栄中央本部副委員長のまとめを受け、「女性の力で20万人組織の実現を」などのスローガンを確認、団結ガンバローで閉会しました。

白河で復興支援コンサート成功

福島・白河支部と白河復興共同センターは8月5日、「第3回復興支援―愛とヒューマンのコンサート」を白河市文化センターで開催しました。日フィル第一バイオリニストの松本克巳さん、パリ・オペラ座楽団ピアニストのベッセラ・ペロフスカさんの情熱溢れる演奏に、会場一杯の200人がうっとり聞き入りました。

「一流の音楽家のすばらしい演奏に感動しました。年金者の皆さん、ありがとうございました」の感想が寄せられました。

このコンサートは埼玉年金者組合の今野強さんの呼びかけに応えて、取り組んだものです。

（本田武男）

白河の復興支援コンサートは大好評でした

新風熱風 ねんきんエッセー

なくそうヘイトスピーチ

社会福祉法人青丘社職員　崔　江以子

「朝鮮人はゴキブリだ、殺せ」、このような差別・憎悪をあおりたてることを禁止する「ヘイトスピーチ解消法」が今年5月24日成立しました。私は在日朝鮮人三世として「ヘイトスピーチ解消法」を審議する3月22日の衆議院法務委員会で、参考人として川崎市桜本へのデモ侵入を阻んだ経緯をのべ、次のように発言しました。

「差別の問題に中立や放置はなく、差別を止めるか否かです。桜本の若者、子どもたちがヘイトデモの人たちに送った『共に生きよう、共に幸せに』とのメッセージが届かずに再び傷つき、涙を流すことがないような社会をつくるためにも、国がヘイトスピーチをなくす側に立つことを宣言し、解消法案を成立させてほしいです」。

私は差別を恐れて日本名を使っていましたが、桜本で在日の子どもが本名で日本の子どもたちと普通に接しているのを見て、高校3年の時に本名宣言をしました。それでも川崎駅前ではじめてヘイトデモに出くわしたときは、恐ろしくて子どもと逃げだしました。

しかし、日本人も外国人も尊重しあい共生している桜本へのヘイトデモ予告に、私たちの町を普通のくらしを守らなければいけない、という思いで勇気を振りしぼって立ち上がりました。

ヘイトスピーチ側から、私だけでなくわが子まで攻撃されています。しかし民族の違いを大切にし、共生する桜本のような町を日本中に広げていくことが差別と憎悪をかきたてるヘイトスピーチをなくしていくことだと信じています。（談）

学ぶ　知る　観光+1の旅
ドイツへ、ポーランドへ！
観る、聞く、学ぶ、撮る、食す、笑う。
帰国後、仲間に報告したくなる旅へ。
旅の仲間（株）三進インターナショナル
SANSHIN 営業：月～金（非営業日：土、日、祝祭日）09:30～17:30
TEL 03-6417-9020　FAX 03-6417-9021
〒141-0032　東京都品川区大崎3-6-21-206
mail：mikami@sanshinkoeki.co.jp / http://www.sanshinkoeki.co.jp（日本語）
東京都知事登録旅行業3-6366／日本旅行業協会正会員

辺野古・高江を訪問！
島ぐるみ闘争の歴史をたどる旅
Peace Green Humanity
旅行日程　11月21日（月）～23日（水）¥91,000
12月23日（金）～25日（日）¥97,000
2017年1月15日（日）～17日（火）¥86,000
行程：①羽田～那覇　不屈館⇒中部基地・島ぐるみ闘争の歴史をたどる（名護市または本部町内ホテル泊）
②北部見学⇒東村高江区（ヘリパッド基地反対座り込みを激励訪問）⇒瀬嵩（グラスボートで大浦湾の海底を観察）⇒辺野古テント・ゲート前を激励訪問（那覇市内ホテル泊）　③自由行動、オプショナルツアー：南部戦跡〈平和祈念公園、ひめゆりの塔と資料館、摩文仁の丘、糸数壕〉那覇～羽田
平和ガイドのご案内で戦後の島ぐるみ闘争の歴史をたどります。
映画「標的の村」の東村高江や辺野古を訪問！
■実施人数：45名（最少催行人数15名）
■利用予定ホテル：〈那覇〉サン沖縄、リゾネックス那覇〈名護〉ゆがふいんおきなわ、リゾネックス名護〈本部〉本部グリンパークなど
■食事：朝食2回・昼食1回・夕食2回
■添乗員：羽田空港より同行　■締切：ご出発の21日前
企画・実施・資料請求　㈱富士国際旅行社　観光庁長官登録旅行業第64号（社）日本旅行業協会（JATA）正会員
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階　TEL：03-3357-3377　FAX：03-3357-3317

カタチにのこそう、未来にのこそう。
印刷のことならおまかせください
あかつき印刷株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 APビル
http://www.aik.co.jp/
TEL 03-3497-0531 FAX 03-3497-0043

みんなのひろば

元気もらって自分を励ます

愛知・名古屋市　山﨑　幸恵63

絵手紙がやりたくて、去年の11月に加入しました。持病があって休むこともしばしばです。

そんな自分に落ち込むこともありますが、先輩はとにかく元気。毎回、元気なパワーをもらいながらガンバっています。

かいもの応援隊をスタート

奈良・河合町　馬場　隆雄66

少子高齢化、公共交通の減少と切り捨てによって、組合員の買い物や外出、通院などの「足」の確保が急務です。

河合支部では8月から「かいもの応援隊」を発足させました。組合員対象に当面は「かいもの」を応援していきます。

組合員の輪が広がるように

愛知・清須市　塩野　陽子67

清須支部では女性部ができて2年目を迎えました。7月の総会の後、連絡体制もできました。

楽しもう会や県本部への報告もきちんとでき、組合員相互の輪が広がるように期待しています。

年金支給日は街頭で訴える

三重・津市　飯田　千恵子

2カ月に一度の年金支給日にはみんなで街頭に立って、署名活動を続けています。

「年金は減り、国保料介護保険料は上がり」で怒りの声がだんだん高くなってきました。「私たちの年金で勝負事をするなんて」の声もしきりに上がっています。

三重では10月13日の年金一揆で県民・市民に声高く訴えていきます。

年金基金から株式運用ノー

大阪・門真市　大森　輝夫73

年金の積立金を株に運用して、すでに5兆円もの損失が出ています。

年金生活者にとっては、年金が唯一の収入源です。私は6月から企業年金が解散して月2万円弱の減額になり、頭にきているところです。

5兆円とはどんな額か。日本の軍事費と同じです。軍事予算が吹っ飛んだことになります。

アメリカでは、年金基金を株式運用しないですべて国債で運用していますから、損失がでることはありません。日本もアメリカを見習ったらいかがでしょうか。

夫の他界で人生設計は混乱

大阪市　片桐　真智子64

昨年夫が他界して、夫の遺族年金だけでの人生設計は大混乱です。

年金裁判の口頭陳述で飯田眞治さんも「私が亡くなった後の妻の生活を考えるとさらに、不安がいっぱいです」（「年金者しんぶん大阪」8月15日号）と語っています。

5兆円の損失が明らかになった年金積立金問題の責任もあいまいな日本の国で一揆がおきないのが不思議と思っていたら、「年金一揆」の活字が。黙っていたら何も変えられませんね。

災害のたびに思うことは…

愛知・名古屋市　川瀬　綾子

各地で甚大な災害を残した台風が去り、ようやく虫の音が聞こえるようになりました。

災害報道のたびに思うことは、「これは防げなかった災害か」ということです。「国防のため」につぎ込む膨大な軍事費と同じように国土・国民の安心のために十分な予算を計上し、全国の河川、堤防、道路などの保守点検、改修をすすめていたら防げた災害はたくさんあると思います。

土石流が家をつぶすような場所を「宅地」と認めることも改めれば、救えた命は多いはず。そんな政治を望むべきではないのでしょうか。

後期高齢者になって驚く！

福岡・水巻町　坂元　雅子75

今年75歳になり後期高齢者の枠にはめられました。驚いたのは国保料の高いことです。介護保険料もしかりです。

安倍政権は、どこまで高齢者いじめ、国民いじめをすれば気がすむのか。腹が立つことばかりです。もっともっと国民世論を高めなければと思います。

平穏な生活が送れるように

北海道・帯広市　吉沢　澄子83

電車も飛行機も動かない台風の連続で、河川が氾濫して自宅待機中でした。停電もあり、夜中でも騒然としていました。床上浸水などの住宅や農作物の被害が心配です。

災害に応じて適切な対策を早く講じ、平穏な生活を送れるようにしてほしいです。東日本大災害、熊本地震の復興の遅れを繰り返さないためにも。

私の一枚

白銀の滝

北海道市・札幌市　小川　基弘

石狩市浜益区にある白銀の滝。落差が25メートルもあり、岩肌に流れる清水に、訪れた人が見とれていました。

滋賀・守山市　小谷　久美子

山梨・甲府市　浅川　栄子

☆北から南から★

■9月も30度が
北海道・北見市　河島　道子91

9月になっても30度が続きました。北見では珍しいことです。

台風の被害では、近くの町内が床下浸水だったとか。こんなことも初めてです。

全国のみなさんのご無事を祈っています。

■台風心配する
青森市　猪股　あや子66

少し涼しくなったと思ったら、今度は台風シーズンですね。

被害が少ないことを祈っています。

■友達が増える
茨城・土浦市　萩原　扶佐子68

60歳をこえたら友達が減っていきます。まして60歳近くになって引っ越したりするとダメです。60歳をこえても新しい友達が増やせるのは、年金者組合だけかもしれません。

■パワーに脱帽
東京・荒川区　倉林　路子60

今年3月に退職しました。すぐに地元の年金者組合の方にすすめられました。そのパワーには脱帽！

■野菜どっさり
静岡・袋井市　金原　道雄64

小さな畑で野菜を作っています。野菜は水をやりさえすれば元気です。今年はナス、キュウリ、カボチャなどが豊作でした。

■毎日を大切に
京都・南丹市　細尾　周子78

5月に植えた稲が実りの秋を迎え、頭を垂れて新米になるのを待っています。

1年が早く過ぎるので、いつまでも元気でいられるように1日1日を大切に過ごすことにしたいと思います。

■真実主張して
愛媛・松山市　堀内　英昭72

日本のメディアはあまりにもだらしないと思います。もっと真実・正義を主張して行かないとダメだと思っています。

■ストレス発散
福岡・田川市　高木　ミドリ70

年金者組合に加入して1年半。月1回の歌声が楽しみです。

どちらかというとオンチの私ですが、力いっぱい声を出し、ほかでは聞けない反戦・平和の歌をうたってストレスを発散。夜はよく眠れます。

旅

長野県 黒姫高原
”ひとめ100万本”のコスモス
天空に浮かぶ野尻湖

黒姫山山麓に広がる黒姫高原（長野県信濃町）。山腹の望湖台（1030㍍）に立つ。直線状に裾野を見降ろせば手前にコスモス畑、その先に童話館、いわさきちひろ黒姫山荘、ナウマンゾウ博物館、一茶記念館、さらに先には朝日に輝く野尻湖が宙に浮かんで見えます。向かい合う斑尾山の真下に当たるでしょうか。地図を重ねると左に日本百名山の妙高山、右に戸隠山、飯綱山、正面に斑尾山。「北信五岳」に囲まれた地形です。

黒姫山中腹から野尻湖と斑尾山を望む

コスモスの向こうに黒姫山

秋晴れの日。記録的日照不足に生気のなかった身の丈ほどの黒姫のコスモスが朝露をのせて一斉に空を見上げる様は、「ひとめ百万本」の振れ込みに違わない見事な咲きぶりです。花にハサミを入れる女性たちの声、仕草も弾んでいます。

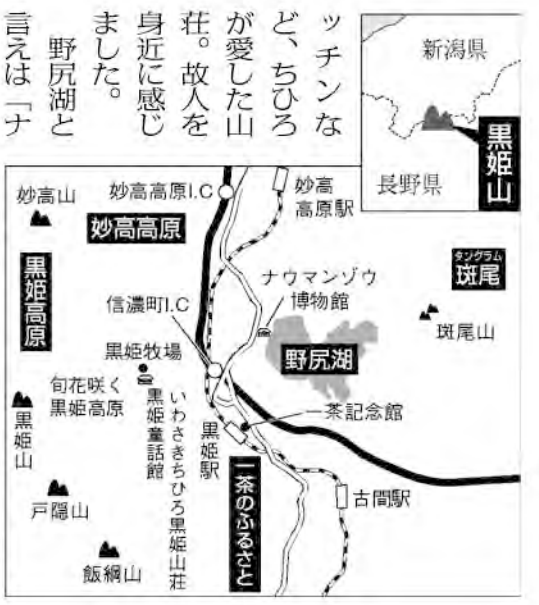
黒姫山を見上げる高原に三角屋根を連ねた西洋の小城が「黒姫童話館」。世界の童話や絵本が展示され、『モモ』の作者のミヒャエル・エンデや松谷みよ子の常設展示室があります。また、「黒姫伝説」の逸話を知ることができます。

童話館の南側に、一茶の故郷に近く、野尻湖の景観にこだわってこの地に建てた「いわさきちひろ黒姫山荘」が移築されています。アトリエやキッチンなど、ちひろが愛した山荘。故人を身近に感じました。

野尻湖と言えば「ナウマンゾウ」。博物館では実物大のナウマンゾウとオオツノシカの復元像に圧倒されました。人間が道具と集団でナウマンゾウを狩り尽くし、2万年前に滅ぼしてしまいました。2年ごとに3月頃の渇水期、国民的な発掘調査は今も続いています。

（杉　宣）

中に入れるちひろ山荘



長野県信濃町観光協会 ☎026―255―3226

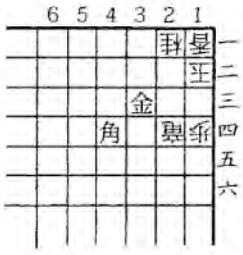
詰将棋（解答8面）

九段　西村一義

初級クラス

「ヒント」竜の守りをそらす……。（10分で2級）

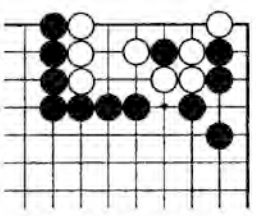
持駒　金桂



詰碁

九段　石榑郁郎

黒先「ヒント」左側のダメヅマリを狙っての攻めです。（7分で1、2級以上）

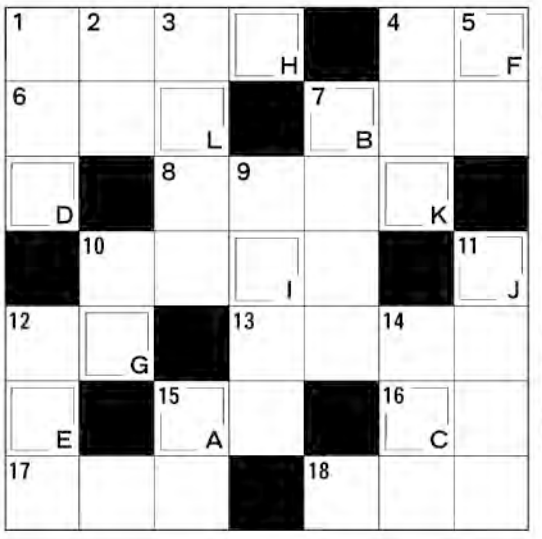


らくらくパズル〈第323回〉

布団の温もりから抜け出し、思い切って朝の散歩に出かけては…。

カギで二重マスにあてはまる仮名文字をみつけ、AB～KLの順に並べ、あることばにして下さい。

（出題＝冒険王）



解答欄

A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	

◎ヨコのカギ

1、□□□□農法。鳥の一種を水田に放ち雑草や害虫を駆除する有機農法
4、□□夢。逆夢の反対
6、年金積立金の株式運用は大変な□□□を伴って危険
7、□□□節。島根県民謡。どじょう掬い
8、選択すること。□□□□ショップ
10、買い物で□□□□が貯まるカードをたくさん持っている
12、第六□□。五感を超越した感覚
13、インターネットで買って□□□□してもらった
15、□□の小川、□□ガスミ、□□爛漫
16、□□穂拾い、□□こぼれ、落語の□□
17、♪□□□の伊太郎ちょっと見なれば…
18、□□□糖。甘く低カロリーで砂糖の代わりに使う

◎タテのカギ

1、まず改憲□□□の安倍政権は倒すしかない
2、大臣の□□欲しさに大派閥に入る政治家が多い
3、孫が大□□□になったので時計を買ってやった
4、帆船で帆を張るための柱
5、高齢者は特に「オレオレ□□」に気を付けよう
7、飲み会の幹事で後片付けを手伝ったら□□□□で残り物をもらった
9、引っ越しのためにトラックを□□□□した
10、□□菓子。夜店で大きな爆発音と香ばしい香が広がった
11、子どものころ裏山で友達と甘い□□□□を摘んで食べた
12、障害児が多い保育園では保育士が通常定員よりも□□□される
14、♪…きのうくらべりゃ何のことやっと□□□の紐のたけ
15、パンドラの□□をあける

応募方法

解答　ハガキ（メールも可）。氏名・住所をお忘れなく。年齢・支部名もどうぞ。

宛先　〒170―0005東京都豊島区南大塚1―60―20天翔大塚駅前ビル「年金者しんぶん」パズル係。E-mail/honbu@nenkinsha-u.org

締め切り　11月20日消印有効

▽正解者の中から抽選で、20人に図書カードを贈ります。

▽ハガキの余白に日ごろの感想、本紙への意見などをお書きください。「みんなのひろば」欄に掲載させていただくことがあります。

第321回パズル解答

応募613人のうち正解は604人でした。

〈正解〉アサツユニヒカルアサガオ（朝露に光る朝顔）

木内　映子（北海道）
佐藤　哲武（北海道）
北村　久（宮城）
須藤　賢三（山形）
伊藤　直子（栃木）
弦間　初恵（埼玉）
三輪　紋子（千葉）
徳山セツ子（神奈川）
南　輝雄（岐阜）
小杉　文子（愛知）
林　喜義（京都）
吉岡　泰治（京都）
川田　五郎（大阪）
神山美和子（大阪）
東根たか子（兵庫）
魚谷　欣志（和歌山）
大谷　和子（島根）
河田　勝美（愛媛）
禿　剛子（熊本）
小西　孝定（大分）

レクリエーション

御嶽山で追悼

岐阜・土岐支部

9月27～28日、24人で御嶽山へ。山を愛した仲間の追悼のために例年この時期に出かけています。

2年前の大噴火は、その2日後でした。今年は噴火したその日に登山口そばの献花台で「その時」を迎え、解禁になった8合目まで登山して供養のセレモニー、参拝しました。

（山本紘司）

献花台前で。地元TV局などから取材も

ぶどう狩とハーブ園へ

神奈川・川崎多摩支部女性の会

9月5日、支部女性の会の第16回目のバスツアーで、山梨県の勝沼へ「ぶどう狩とハーブ園」に行きました。台風が予告されていましたが好天に恵まれ、27人（男性2人）の参加者は大喜び。

好きな房をもいだり、試食したりして持ち帰りの箱詰めにしてもらいました。終わった人から歩いて5～6分のハーブ庭園に移動。いろんな種類のハーブやひまわり、コスモスを眺めたり、足湯でゆったり、緑陰でのおしゃべりなどのんびり過ごしました。

（小林光子）

青春18きっぷ　信州高原列車の旅

滋賀・守山・野洲支部

8月3～4日、県内4支部の旅好き仲間15人で信州高原列車の旅へ。JR小海線（八ヶ岳高原線）の列車は緑の中を走ります。野辺山駅（日本一高い場所、1346㍍）も通過し爽快でした。

宿泊地小諸＝写真はホテル前＝では詩情豊かな小諸城址懐古園を散策。篠ノ井線、姥捨駅（日本三大車窓）ではスイッチバックを体験し、停車中に善光寺平を一望するホームで感動。片道9時間の移動も期待通りの楽しい青春18きっぷの旅でした。

（石川しづゑ）

書棚

再生の風浪

三原　竹二　詩集

1000円
人吉中央出版社

この五年間の世の中の動き、暮らしの移り変わりを見つめた四六篇の詩には、年金者組合の人びと、自然と故郷、沖縄と原発や叙事詩を含めて「再生」に取り組む人びとを詩いあげています。

人と自然を温かな目で追いながら、根源のところから見つめた「詩集」です。

「世の成り行きが、日頃の暮らしと遠くにあると思える地方にあって、どれほどの声で想いを詩えたか忸怩たるものであるが、両者をつなぐ絆になれば」と作者の「あとがき」です。音読をお薦めします。（熊本・人吉球磨支部　嶋田正剛）

プレゼント

本書を抽選で5人の方にプレゼントします。ハガキに図書名記入のうえ書棚欄まで。11月25日締切。

読者プレゼント

8月号掲載の『未来につなごう』は34人の応募がありました。抽選で次の方に贈ります。（敬称略）

杉本　邦雄（北海道）
栗原　陽子（静　岡）
豆田昇一郎（滋　賀）
田口　政子（福　岡）
横田　五一（長　崎）

＊購入希望者は本代（1000円）郵送料とも負担となります。詳細は編集部まで。

年金者文芸

文芸作品募集　ハガキに作品と住所、氏名、年齢を添え、短歌、俳句、川柳宛を明記。文芸欄まで。FAX・メールも可。毎号25日〆

短歌

真夏日の午後に肌刺す風吹けばまだ淡きかなネプタ囃子は　青森県弘前市　今井　孚79

栗落ちる硬質の音響きけり昼は若者居らぬ村落　秋田県鹿角市　小林　健70

飛び石を渡れば触れて零れけり白萩の花明日を待たずに　茨城県鹿嶋市　鈴木　隆78

大空襲逃れ横穴あの壕も生コン塞ぎ知る人絶えて　神奈川県横浜市　石渡　貴久80

夫往きて一人残りし淋しさよつけるテレビにむなしさつのる　長野県松本市　関　文子72

どちらから話しかけるか君と吾の溶けきれずあるコーヒーシュガー　岐阜県土岐市　中島　澈82

カナカナもツクボクホーシ聞かずして遥かな道を誰に従う　京都府長岡京市　関　剛80

予科練に勧めんとする教官に手紙を認め　吾子庇う母　鳥取県大山町　大久保禮吉83

曼珠沙華そこここに咲き野辺の道しみじみ歩む彼岸間近を　愛媛県今治市　大澤　博明77

なつかしきメロディー歌うデイサービスおもわず軍歌われ声ほそめり　佐賀県佐賀市　詫摩　次郎83

俳句

稲光わが生命線照らしゆく　福島県郡山市　渡辺　正一79

一句得てコーヒー嗜む窓の秋　群馬県太田市　山田　ふみ86

若い頃見えざりしもの秋の声　千葉県千葉市　佐藤　久代87

落蝉を踏まじと急ぐ帰り路　千葉県千葉市　猿田　惟晴78

こほろぎや更地となりし父母の家　千葉県四街道市　富田　幸子77

摘むたびに寂しさつのる曼珠沙華　神奈川県横浜市　佐々木裕雄71

船頭に命預けて下り舟　三重県伊勢市　佐藤　輝巳83

コスモスや風が描き込む濃く淡く　福井県福井市　田邉　一彦86

海の月人魚のごとき二人連れ　静岡県藤枝市　清水　伸二84

お祭りや求めし茶碗の栗ご飯　愛知県瀬戸市　山田　良裕81

彼岸花鍬打つ度に深呼吸　京都府亀岡市　清水　一成79

時なしに掛け声よいしょ煮染芋　大阪府堺市　金森　薫88

彼岸花恋燃え初めし二人かも　和歌山県岩出市　七条佐代子74

画く前に一粒食ふや黒葡萄　和歌山県和歌山市　矢野　淑枝88

川柳

花束の栄転終り認知症　北海道札幌市　井上　洋二85

開けてから随分経ちます玉手箱　青森県弘前市　齋藤　紀75

立候補思わぬ過去が顔を出し　福島県郡山市　先﨑　伍郎72

終活も遠出も朝の空次第　群馬県館林市　恩田　清76

もったいない何度も浸かる旅の風呂　千葉県白井市　佐々木正康77

こうすれば秋ナス旨いと嫁に言う　埼玉県桶川市　星野　紀治76

退職し肩書がとれ好々爺　神奈川県横浜市　毛利やすひこ82

職員におんぶをされて被災地へ　大阪府和泉市　本山　高行78

いくつもの薬をつめて旅に出る　和歌山県田辺市　田中　山海75

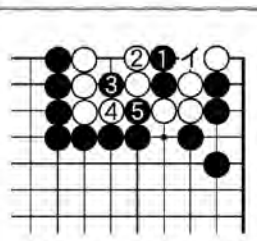
ポケットで計算をする五本指　岡山県岡山市　木下　戯嘉73

末席に下戸があつまる義理の宴　岡山県倉敷市　荒井　清

文芸欄は編集部選。優れた作品とともに多くの方の作品を紹介できるよう配慮しています。なお、二重投稿はご遠慮ください。

◇囲碁の解答

黒1の下がりから3と打つのが好手段。白4に黒5で白死です。黒1で5は白3で白生き。白2でイなら黒4白3黒2。白2で5も黒4白3黒2で白死です。



◇将棋の解答

▲2二金打△1三玉▲2五桂△同竜▲3五角△同竜▲2三金引まで7手詰

〈解説〉

▲2二金打で△1三玉と追い、次の▲2五桂で△同竜と取らせて▲3五角と捨てるのが決め手です。玉方△2四金合でも▲2三金で詰みです。